



人類に
奉仕する
ロータリー

第 1219 回

2017年5月9日(火) 雨 第37回

～ 青少年奉仕月間 ～

斉唱 君が代、我らの生業
 出席 会員 52名 (出席率算入人数 42名)
 出席 39名 出席率 92.86%
 前々回補填率 97.62% (4月11日分)
 ゲスト 公益財団法人 名古屋 YMCA
 総主事/代表理事 中村 隆さん
 米山奨学生 張 佳宝さん
 体験例会 株式会社ダイコーゴム
 代表取締役 久納 征人さん

5月の誕生日

2日 川瀬 悟さん 22日 長尾 浅吉さん

配偶者誕生日

10日 久米 ゆりさん 10日 鈴井 富貴さん
 14日 白藤由利子さん

5月の結婚記念日

17日 小島 招啓さん 23日 有川 英敏さん

会長あいさつ

会長 木下 福郎さん

皆さま、こんばんは。前回東南RCとの合同例会の後、メンバーの方と飲みに行きました。珍しく吉木さんがお見えになったので「吉木さんも来ているんですね。」と話したら、久米伸治さんがよく知っているママが総入れ歯を3,000,000円で作ったのですが、痛くて上手く入らないので、吉木さんが診てくれるという話でした。その話を家で妻に話したら、「あなたはそんな総入れ歯のママのお店に行っているの?」と言われました。あまりそんな事は考えていなかったもので、やはり皆さまご長寿になられたのと美容などの技術が進んだのかなと思いました。



本日は今年ロータリー財団が100周年という事で、3年後の2020年10月20日(火)が東京RCの創立100周年となります。東京RCは日本で最初に設立されたRCで、国際ロータリー直轄のクラブとして、スポンサークラブはありません。現在会員は332名

で、毎週水曜日の12時30分から13時30分迄東京帝国ホテルの中2階の光の間で例会を行っております。

東京RCでは100周年委員会というのが設立されて、日本全国のRCへアンケートが来ております。東京RCは1918年1月に、当時三井銀行の重役だった米山梅吉さんが財団財政調査団として渡米しまして、その時にテキサス州ダラスでダラスRCの会員であった福島喜三次さんという方と出会い、ロータリー運動に心を動かされました。帰国後、ロータリー精神と組織の研究に努め、2年後の1920年1月に帰国された福島喜三次さんと在日米国人であり実業家のウォルター・ジョンストンさんの協力をいただいて、10月20日、チャーターメンバー24名で東京RCを設立しました。

初代会長は米山梅吉さん、幹事が福島喜三次さんで、翌年1921年4月にシカゴ本部より加盟認証されました。1905年にポール・ハリスさんがシカゴにRCを作って、僅か15年後に日本にRCが出来たというのは、当時RCがそんなに有名だったのかどうかは分かりませんが、非常に短期間で日本に伝播したと思います。

私も一度だけ東京RCの例会にメイクアップとして出席した事がありますが、帝国の非常に広い宴会場で大体200名ほど参加しております。全部指定席になっておりまして、330名お見えになりなかなか全ての会員に会えないという事で、3ヶ月毎定期的にテーブルをチェンジする事になっています。各テーブルにはテーブルリーダーがいて、会場の方なのか親睦の方なのかは分かりませんが、ビジターで行くとその方が面倒を見てくださって色々指示してくれます。私は行った時にロータリーバッジを忘れていまして、ロータリアンの証明が出来るかと言われて、証明書のような名刺を見せて中に入れていただきましたが、私が伺った時の幹事が、明治乳業の創設者の曾孫の方で、クラブでは明治の牛乳が無料で飲めました。昼ですがワインやシャンパン、カクテルも飲めます。

皆さま、東京に行かれたら、是非お時間のある時は例会に一度参加をされると、これが東京RCかと体験できていいと思います。

幹事報告

幹事 細井 俊男さん

1. 理事会の承認事項です。入会の申し込みで3名が承認されました。江松さんご紹介の上田正秀さん、本日お見えで同じく江松さんご紹介の久納征人さん、東海東京証券株式会社、堀さんの後任

で前回お見えになった神田広一さんの以上3名です。久納さんにおかれましては、先程お話がありました。8月以降の入会をご希望という事です。明日、事務局より詳細をFAXさせていただきます。

- 4月分のニコボックスの合計3回分が143,000円です。
- ロータリーレートが4月迄は116円でしたが、5月から110円に変更されました。

ニコボックス

- ◆YMCA総主事 中村隆さんの卓話楽しみにしています。

加藤 英敏さん 中西 芳子さん 小嵐 招啓さん
坂田 信子さん 木下 福郎さん 三島多恵子さん
安藤 修さん 中村 勝さん 有川 英敏さん
伊藤 圭一さん 久米 伸治さん 長尾 浅吉さん
新原 尚さん 東山 直史さん 大平 明子さん
大橋さなえさん 猪村 美之さん 森田敏二三さん
佐々木 暢さん 入谷 直行さん 細井 俊男さん
坂本 晃さん 朝比美和子さん 高橋 司さん
川瀬 悟さん 佐々木元彦さん 犬飼りさ枝さん
川辺 清次さん 田中 一雄さん 本多 利郎さん

- ◆中村隆さん、卓話してくださり有難うございます。楽しみにしています。 下村 徹嗣さん

- ◆米山奨学生張佳宝さんを迎えて。

加藤 宜之さん

- ◆今回のお宝は鍾馗（しょうき）です。端午の節句にかざる厄払いの神様です。 三浦 隆さん
本日合計 53,000円 累計 1,698,500円

委員会報告

- 環境保全・保健問題 委員長 中村 勝さん
皆さま、こんばんは。先月は緑の羽根募金という事で、皆さまにご協力をいただきましてありがとうございます。先般、愛知県緑化推進委員会から募金いただきました浄財はこれらの緑化推進に活用させていただきますとお礼をいただいております。ちなみに募金金額は25,000円でした。ありがとうございました。

同好会報告

- 混声合唱団 川辺 清次さん
皆さま、こんばんは。本日皆さまの出席袋に入れさせていただきましたが、4月20日（木）のチャリティーコンサートは無事に終える事が出来ました。ありがとうございました。義援金総額は720,000円で、それぞれ360,000円ずつ東日本大震災と熊本地震の育英会に振り込みさせていただきました。

裏面を見てくださいと、それぞれの内訳がございます。名南RCとしましては、総額47,000円でした。合唱団から3,000円を追加して50,000円を寄付させていただきました。本当にありがとうございました。

また来年も行いますので、一つ宜しくお願い致します。それから出演した6つのRCで、11月19日

（日）の地区大会のオープニングを歌う予定にしております。また地区大会では新しい曲でお目にかかれると思いますので、乞うご期待です。

体験例会紹介

- 紹介者 江松 央統さん
皆さま、こんばんは。体験例会という事ですが、3分の1くらいの人はタイの遠征ゴルフに同行したのでご存知かと思えます。緑区の地元の先輩です。宜しくお願い致します。

株式会社ダイコーゴム

代表取締役 久納 征人さん

皆さま、こんばんは。緑区でゴム関係の会社を経営しておりますダイコーゴムの久納と申します。8月から入会させていただきたいと思っておりますが、その前に体験にお邪魔させていただきました。宜しくお願い致します。

米山奨学生紹介

- カウンセラー 坂田 信子さん

皆さま、こんばんは。私は今年1年、米山奨学生の張さんのカウンセラーとして務めさせていただきました事になりました。私から簡単にご紹介させていただきます。名前は張佳宝さんでニックネームは張さんです。言葉は中国語・日本語・英語と堪能です。

現在は名古屋大学大学院情報科学研究科の修士2年生で、組み合わせ最適化について研究をされています。大学院を卒業した後は日本で就職して、将来日中両国の国民間の理解と友好関係を深める為に力を尽くしたいとお考えになっているそうです。宜しくお願い致します。

米山奨学生

張 佳宝さん

皆さま、こんばんは。先程紹介をいただきました名古屋大学の張佳宝と申します。私は今、大学で組み合わせ最適化について研究していますが、研究している分野は数学とパソコンサイエンスの設定みたいなものです。卓球が好きです。これからの1年間、皆さま宜しくお願い致します。

外部卓話

■卓話者ご紹介

下村 徹嗣さん

中村さんをご紹介します。名古屋YMCAの実質的な最高責任者であります。YMCAというのはキリスト教青年会というのが日本語訳です。キリスト教の精神に則って、主として青少年の育成指導にあたる団体です。名古屋YMCAは、人の命を大切に、平和を求め人に寄り添って人と共に生きる事を活動の方針としておりまして、中村さんは大阪のYMCAからヘッドハンティングをして4年前に来てもらった方で、本当に有能な方です。本日の卓話をどうぞ宜しくお願い致します。

■（公財）名古屋YMCA

総主事／代表理事 中村 隆さん

皆さま、こんばんは。本日はお招きいただきありがとうございます。青少年を取り巻くこういうお話をという事で、下村先生からご依頼を受けました。

ただ私はYMCAで勤務をしておりますが、YMCAとは何かという事を理解していただかないと何も話が前に進まないと思います。これからほとんどの時間がYMCAの宣伝となってしまいますがご容赦いただいて、どういう団体がどのように子供達と関わっているのか、そして今子供達はどのような状況にあるのかという事を、私が知りうる限りの事でお話させていただきます。



YMCAは「Young Men's Christian Association」と言います。マークは赤い逆三角形で、中にある「spirit (精神)・mind (知性)・body (身体)」を大切に育みましょうという考え方です。キャンペーンでは、Caring、honesty、responsibility、respectの4つの価値を大切に、人格の形成をしましょうという事を謳っている団体です。

誕生は1844年ロンドンです。ロンドンで12名の青年達が産業革命で退廃した若者の暮らしを何とかしようという事で祈りの会を始めたのがYMCAのスタートです。それがどんどんと青年を育もうと広がっていき、現在では世界119の国と地域でおよそ60,000,000人位の会員がその運動に関わっています。日本では1880年に東京で始まりました。現在では北海道から沖縄まで188の拠点があります。名古屋のYMCAは1902年に始まり、日本で7番目のYMCAで、115年青少年の活動に関わっております。

YMCAの今ですが、年配の方は上前津にYMCAがあったのをご存じかもしれません。上前津の会館は十数年前に売却する事になりまして、今は新たに池下で本館を構えております。他では3年前に保育事業をスタートしております。神沢の地域でかみさわ保育園という事で、69名の保育園児が来てくれています。名古屋市が待機児童ゼロと言っておりますが、本当に子供の子育て状況というのは厳しいものがあります。そんな時に保育園も現在では株式会社がどんどん参入してきて、様々な保育の考えでやられている所があります。私達は良質の保育を展開したいという事で、そこに参入しました。こちらもご存じの方がいるかもしれませんが、南山幼稚園というのがいりなか南山にあります。こちらは81年目を迎えた老舗の幼稚園です。会長とお話させていただきましたら、子供達が来ていただいていたという事で、これでまた寄付をお願いしやすかったりもしました。ここには200名の子供達が来てくれています。

YMCAは実はキャンプを大切にしています。キャンプで子供達を育むという事を大切にしている団体です。これは岐阜県高山市高根町という所にあるキャンプ場です。ドラム缶風呂に入ったりツリーハウスを作ったりしています。YMCAの特徴的な事は、そこには必ず学生のボランティアが介在しています。年齢の近い大学生が子供と直接関わる、子供が年齢の近い学生からやはり色々な経験をもらって、そして学生は子供達から多くの学びを得るという事がYMCAのやろうとしているしくみです。シニアのスタッフが直接子供にというよりも、未熟でも元気と勢いのある青年が子供達と関わる事の方が学ぶ事も多いだろうという事で、そういうアプローチ

をしています。

名古屋RCとYMCAは密接に色々な事をさせてもらっています。名古屋の中学生のバスケットボール大会を行い、ロータリー杯とYMCA杯という事で、名古屋の中学生がほとんど来てくれています。107校、男子は97校が参加してくれています。それは何故行っているかと言いますと、バスケットボールは実はYMCAで生まれたスポーツだからです。1891年、ネイスミスにより考案されたのがバスケットボールの起源です。バスケットボールはグラウンドの片隅に線を引いて籠を置いてやっていたというイメージがありますが、元々は室内競技ですので、60年前から中学生がバスケットボールに接する機会が持てたらいいと始まったのがこの大会です。女子の会もないのかと希望があった時に、名古屋RCが費用負担するのでやりましょうという事で、46年前から名古屋RCと一緒にこの大会をやっております。

同様にYMCAでやっているインターナショナルチャリティーランです。障害を持つ子供達を支援する為のリレー形式のチャリティーランというのを行っています。こちらもRCの方達から支援をいただいています。こういう形で名古屋RCとYMCAはかなりの部分で協力をいただきながら動いています。

YMCAの働きですが、震災支援はかなりの事をしました。東日本大震災の時には、盛岡宮古のYMCA、仙台石巻のボランティアセンターへ集まった募金総額は約600,000,000円で、そのものを用いて私達はどこかにではなく、YMCAはその地域にありますので直接サポートの仕事をさせていただいたという事です。世界の方達に対しても、国際貢献事業、フィリピンの活動等々行っています。フィリピンのワークキャンプ、現在は東アジアの状況が非常に危ないですが、民間レベルで私達が何を出来るのかという事で、こういう働きをしています。

熊本地震の時にも実は熊本のYMCAが益城町の総合公園と御船町のスポーツセンターの2ヶ所の施設を指定管理で受けておりましたので、ここで全国のYMCAが力を合わせて避難所運営を行いました。

この益城町というのがいつもNHKのニュースなどで一番に出てくる一番広い体育館です。一番多い時には2,000名を超える人達が避難をされていた所です。直下型地震だったので建物が潰れるのですが、道を挟んで1本向こうは無傷であったり2km離れると町が普通に機能していたりという被災状況です。体育館でも1回目の地震が起きた時に、ここはまだ天井が崩れていませんでしたが、1回目の地震で避難して来た人達の避難場所としてここを使うかという事で、かなりもめました。その時に亀裂があったので、万が一の事があったらと、ここには人を入れませんでした。

すると、2回目の時に天井が落ちたという事なのです。その一瞬の判断で、本当に多くの人の命に関わったという事を感じました。支援物資でもこれは少し裏話になるのですが、私自身も避難証明をした事はありませんでした。ただ今回、指定管理で大きな施設を持っていたので、避難証明に直接関わる事になりました。そうすると見えなかった事が沢山見えるという事がありました。益城町の体育館は一番大きな避難所だったので、何が起きたかと言いますと、全ての支援物資がここに運ばれてきました。そ

うすると支援物資で溢れて、非難されている方の寝る場所がなくなります。この物資を運び出す為に、またトラックを頼んで違う場所を確保して運び出さなくてはならなかったという事が現実としてありました。支援物資というのは遠方から必要に駆られて送った場合、そのものが大概余るという事を、実際につぶさに見てきました。こういう言い方はどうかと思いますが、支援物資を送る時には出来るだけ近くのエリア毎で支援物資を送る仕組みを作ったほうが、実際には効果的であると。遠方から着いた時にはもう余ってしまうという状況でした。これは2週間ほど経った後ですが、段ボールベッドを全部入れて、1人1人の空間を作りました。ただ仕切りはありませんので、そこが全ての生活空間です。これでも良くなったほうで、これは衛生管理の為に段ボールベッドを入れようとした後の動きです。自衛隊の方が緊急時に力を発揮されています。

実際、避難所で最初に自分に出来る事をしようと思って動き出したのは子供達でした。その子供達を我々スタッフがコーディネートしてわくわくワーク隊というものを作り、子供達が自らお年寄りの配膳をしたり話しかけに行ったり支援物資を配ったりという事をしてくれました。何かあった時に最初に立ち上がるのは子供達だったと改めて感じました。

そして震災時には動物達が一番の犠牲者となりますので、動物達も見ようという事で仕組みを作りました。

そして潰れた体育館を片付けて、個別の段ボールベッドに仕切りのポールを入れて、避難所の後半はプライベート空間を作って、それぞれの方に避難をしていただきました。

震災の話で終わってしまいそうなので、子供の状況の話に戻りたいと思います。今よく言われているのが子供の貧困です。子供の貧困が深刻化しています。6人に1人の子供が貧困児童であると言われてます。絶対的貧困とは違い日本で起きている貧困というのは相対的貧困と言って、見た目は何ら変わらない子供達があります。ただこの子供達は家で食事を摂る事がままならないので、子ども食堂と言われるものが沢山作られて、こういう所で食事を摂っています。日本に於ける貧困児童の割合は国際比較で言うと4番目です。世界で言うとOECDの統計で35ヶ国中10番目という事です。ただ日本に於ける問題は、1人親家庭の貧困率というのが日本は世界でダントツです。子供の貧困率だけだと35ヶ国中で10番目ですが、1人親の場合だと日本は世界で1番なのです。ここに日本の社会のひずみがあるという事です。1人親家庭の相対的貧困率は54.6%で、大人が2人以上いる世帯だと12.4%に落ちます。大学進学率も1人親家庭は23.9%、全世帯平均は53.7%です。ここに日本の社会福祉制度の課題があると思います。

そういう状況下であったので、私達は夏休みに全ての子供達に自然体験をという事で5泊6日のキャンプに招待しました。5泊6日のキャンプというのはなかなか集まりにくいのですが、このキャンプは参加費全額補助という事を書きましたので、1日でキャンセル待ちになるほどニーズがありました。それだけ現実問題として困っている子供達が沢山いるのだなと感じました。

衣食住を守りながらみんなで自然体験が出来たら

いいねという事です。朝からみんなで掃除もします。午前中は勉強もし、昼からはヤモリを捕るという事を夏休みにしています。子供は薪をくべ、食器は自分達で洗います。ご飯も自分達で入れます。シーツも自分達で敷きます。シーツを上手く敷くコツというのは何かご存じですか?答えは2人でやる事です。皆1人でゲームをする世の中になって、協力をしないと何かが出来ないという状況を作ってやると、子供達は本当に成長します。お櫃にご飯が入れないのではないのです。やった事がないから出来ない。やる機会さえ与えてやれば子供達はどんどん成長します。そういうキャンプを子供達としたいとやっております。

子供の仕事という事で、色んなお手伝いをしてくれました。机の上の勉強では分からない事が沢山あります。竈の上の鍋は熱いのに手で触ろうとする、風下で煙に巻かれて目が痛くなるなど、ちょっとした経験が子供達に多くの知恵を与えてくれます。勉強も大切ですが子供の仕事に遊びとお手伝いも加えてくださいというのが、私達がキャンプを行っているメッセージです。子供はすごいなと私はいつも思っています。

ただ子供の世界というのは良い事ばかりではありません。「18,782×2=37,564」これは私の娘が小学校4年生の時に学校で子供から習ってきたのですが、「いやなやつ」と読んで、「いやなやつ」を2倍にすると「みなごろし」と読むというのです。子供の世界というのは、実はこんな事が平気で語られている社会です。その事をあまり子供達は感じていないのです。だからこそ、私達は子供達と1対1で向き合う時間や子供達と共に体験する時間を大切にしたいと感じています。子供達の輝く笑顔の為に、これからも私達へのご支援を宜しくお願い致します。

短い時間でしたが、社会の中には色んな事が起きていてそこへ一歩足を踏み入れると、分からなかった事が見えてくるという事をよく感じています。だからこそ、私達大人は子供と向き合いたいなと感じているという事です。本日はどうもありがとうございます。

第1221回例会(5月23日)のご案内

外部卓話

ALSOK 名古屋支店長 富野 官氏

■ 5 月度理事会 議事録 ■

報告者 加藤 英敏さん

日時 2017年5月9日(火) 17:00～

場所 名古屋マリオットアソシアホテル
17F『パイン』

出席者 木下、朝比、入谷、細井、坂本、
加藤(宜)、加藤(英)、大橋、三島、
安藤、佐々木

17名中11名参加

◎審議事項

一、新入会員承認の件

＜幹事 細井 俊男さん＞

1、上田 正秀さん(紹介者 江松 央統さん)

⇒承認

2、久納 征人さん(紹介者 江松 央統さん)

次年度8月入会希望 ⇒ 承認

3、神田 広一さん(紹介者 堀 敦さん)

⇒承認

◎協議事項

一、なし

◎報告事項

一、6/13 クラブフォーラム内容の件

＜幹事 細井 俊男さん＞

木下会長より、出席率のよかった担当委員会の例
会の表彰等を行う。

一、次年度地区補助金事業の件

＜副幹事 加藤 英敏さん＞

会場が、名古屋オーシャンズホームコート「武田テ
パオーシャンアリーナ」に変更

その他、コート・コーチ代についてはほぼ地区へ提
出の予算と変更なし

食事については未定

一、会計中間報告(4月末)の件

＜会計 加藤 宜之さん＞

特に問題はなし

最終、ニコボックスより補てんの予定

※次回のご案内

6 月度理事会

6 月 6 日(火) 17:30～

名古屋マリオットアソシアホテル

17 F「パイン」